



Title	日本の遺伝子診療の現状と課題：「遺伝子診療とその社会文化的側面についてのアンケート調査」から
Author(s)	工藤, 直志; 岩渕, 亜希子; 霜田, 求他
Citation	医療・生命と倫理・社会. 2008, 7, p. 13-66
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/7286">https://doi.org/10.18910/7286</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 資料1

別表 2005年度の機関別・遺伝学的検査数および遺伝カウンセリング数

No.	地域	機関種別	外来種別 <sup>1)</sup>	規模(ベッド数) <sup>2)</sup>	遺伝学的検査数(計) <sup>3)</sup>	検査数 染色体	内訳 DNA / 遺伝子	遺伝カウンセリング数 <sup>4)</sup>
1	東北	大学	総合遺伝外来	600	17	2	15	20
2	近畿	その他	総合遺伝外来	600	46	0	46	5
3	関東	その他	診療科対応	600	97	97	0	120
4	九州	大学	診療科対応	800	64	20	44	30
5	四国	大学	総合遺伝外来	600	0	0	0	19
6	関東	その他	総合遺伝外来	400	432	377	55	18
7	九州	大学	総合遺伝外来	900	- <sup>5)</sup>	-	-	-
8	東北	大学	診療科対応	1000	12	12	0	25
9	関東	大学	総合遺伝外来	800	13	7	6	57
10	中国	大学	総合遺伝外来	600	4	0	4	10
11	東海	大学	総合遺伝外来	1500	3	1	2	8
13	近畿	大学	総合遺伝外来	800	-	-	-	-
14	近畿	大学	診療科対応	800	2	2	0	16
15	北海道	大学	総合遺伝外来	900	3	2	1	8
16	九州	大学	総合遺伝外来	1300	14	8	6	23
17	関東	大学	診療科対応	1100	10	10	0	55
18	関東	大学	診療科対応	1100	50	40	10	45
19	四国	大学	総合遺伝外来	600	12	0	12	12
20	九州	大学	総合遺伝外来	600	0	0	0	11
21	関東	その他	診療科対応	500	5	5	0	6
22	九州	その他	総合遺伝外来	700	32	31	1	112
23	中国	大学	総合遺伝外来	700	188	160	28	370
24	北海道	大学	総合遺伝外来	600	4	3	1	12
25	近畿	その他	総合遺伝外来	400	188	0	188	40
26	近畿	大学	総合遺伝外来	1200	1033	1006	27	110
27	東北	大学	総合遺伝外来	600	5	1	4	22
28	東海	大学	総合遺伝外来	700	-	-	-	-
29	九州	大学	総合遺伝外来	700	0	0	0	17
30	北陸	大学	診療科対応	1000	7	7	0	5
31	北海道	大学	診療科対応	900	-	-	-	-
32	関東	大学	総合遺伝外来	1200	13	10	3	41
33	近畿	大学	総合遺伝外来	1000	25	1	24	72
34	北海道	その他	総合遺伝外来	200	193	189	4	191
35	関東	大学	総合遺伝外来	600	62	60	2	-
36	関東	大学	総合遺伝外来	1400	257	67	190	307

別表注1) ここでは遺伝子診療を専門に扱う部門を「総合遺伝外来」、それ以外のケースを「診療科対応」と表記している。

別表注2) 各機関のベッド数を10の位で切り上げた。

別表注3) 検査数については、調査票B4および調査票Dを参照し、両者の値が不一致の場合は、特に調査票B4の項目設定によって集計からもれている検査がある可能性を考慮し、項目ごとに多い方を集計に用いた。

別表注4) カウンセリング数については、調査票C9および調査票Dを参照し、両者の値が不一致の場合は、その平均値(小数点以下四捨五入)を集計に用いた。

別表注5) 表中の斜線部は遺伝カウンセリングを担う部門が2006年度開設のため2005年度実績がないケースである。また表中に「-」とある箇所は無回答である。